

## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月3日

上場会社名 **ダイセル化学工業株式会社** 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 畑 理史 TEL (03) 6711-8121

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	97,682	10.2	7,323	△16.7	7,626	△7.4	3,780	△8.2
19年3月期第1四半期	88,647	15.6	8,794	21.1	8,235	15.0	4,118	13.0
19年3月期	381,422		36,398		34,734		17,438	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	10	45	—	
19年3月期第1四半期	11	38	—	
19年3月期	48	19	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	564,310		249,533		39.5	615	78	
19年3月期第1四半期	490,288		229,799		40.5	548	40	
19年3月期	547,431		242,409		39.5	596	88	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	9,301		△7,221		5,057		21,158	
19年3月期第1四半期	5,946		△13,404		11,319		18,805	
19年3月期	25,534		△54,183		26,948		13,958	

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

前回公表の中間期および通期の業績予想の見直しは行っておりません。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.その他をご覧ください。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期のわが国経済は、堅調な国内需要と底堅い輸出に支えられ、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当第 1 四半期の当社グループの売上高は、976億82万円（前年同期比10.2%増）となりました。利益面では、営業利益73億23百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益76億26百万円（前年同期比7.4%減）、純利益37億80百万円（前年同期比8.2%減）となりました。減価償却制度の変更による固定費の増加や、原燃料価格が高水準で推移したこと、主力工場である当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を計画どおり当第 1 四半期中に実施したこと等により、前年同期比では減益となりましたが、平成19年 5 月 9 日に公表した中間期及び通期の業績予想に対しては順調に推移しております。

事業部門別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主として液晶表示向けフィルム用途の需要の増加と、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の是正により、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、国内たばこ需要は漸減傾向にありますものの、大手たばこメーカーの拠点を始めとする海外向けの販売は堅調に推移し、販売価格是正や為替が円安傾向で推移した影響もあって、売上高は増加いたしました。

WSP（水溶性高分子）は、海外における化粧品用途などの需要が減少いたしましたものの、国内における医薬・化粧品用途向けなどの販売が好調で、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、176億44百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益は、26億54百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、需給逼迫を背景に販売価格の改定を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、堅調な国内需要に支えられ、原料高を背景に販売価格の是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、需要は堅調に推移いたしましたものの、一部不採算製品の販売中止などが影響して、売上高は横這いとなりました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラル（光学活性体）事業は、カラムの販売が好調に推移したことや、新規の受託合成製品の効果により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、229億14百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は、20億96百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、国内自動車分野向けや国内外の電子デバイス向けの需要が堅調で、売上高は増加いたしました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、汎用樹脂、高機能エンブラアロイ樹脂、長繊維強化樹脂ともに販売が堅調に推移するとともに、原料高に伴う販売価格の是正を実施したこともあって、売上高は増加いたしました。

シート事業は、大手需要家向け販売の好調と新規販売先の開拓により、売上高は増加いたしました。

成形容器、緩衝材などの製品事業は、厳しい市場競争が続く中、高付加価値製品の販売及び販売価格の是正に注力いたしましたが、売上高は減少いたしました。

フィルム事業は、主力製品であるバリアフィルムの拡販は進んでおりますものの、一部用途における製品在庫調整の影響で、売上高は減少いたしました。

その他の樹脂加工事業は、建築資材分野の販売は堅調に推移いたしましたが、土木資材分野が低調で、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、414億32百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は、32億74百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車のエアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、国内自動車生産台数が堅調に推移する中、特に側突系のインフレーターや、運転席・助手席用の新型インフレーターの販売が順調に推移していることに加え、海外市場における販売も好調で、売上高は大幅に増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品において防衛省の調達数量が増加したことや、納入時期の変動が影響して、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、142億74百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は、12億10百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、浄水場向けや下水処理用途向けの販売が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

その他新規機能性材料は、電子情報材料分野向けの販売増加により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、14億16百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は、6百万円（前年同期比96.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、新規設備投資による建設仮勘定の増加などにより、前期末に比し168億79百万円増加し、5,643億10百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより、前期末に比し97億54百万円増加し、3,147億76百万円となりました。有利子負債は、前期末に比し71億64百万円増加して1,709億49百万円となり、総資産に占める有利子負債の割合は30.3%となりました。

また、純資産は、2,495億33百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,227億97百万円となり、自己資本比率は39.5%となりました。

(2) 当第1四半期（平成19年4月1日～平成19年6月30日）のキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、93億1百万円（前年同期比56.4%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として運転資金の圧縮によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、72億21百万円（前年同期比46.1%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として有形固定資産の取得に伴う支出の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、50億57百万円（前年同期比55.3%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として借入による収入の減少であります。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比し71億99百万円増加し、211億58百万円となりました。

### 3. その他

#### 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

連結子会社の役員退職慰労金は、監査・保証実務委員会報告第42号「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」の公表（平成19年4月13日）を受け、連結子会社の一部において、従来支出時の費用として処理しておりましたが、当四半期連結会計期間より役員退職慰労金規程に基づく四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上することに変更しました。この結果、従来の方法を採用した場合と比べ、営業利益は8百万円減少し、税金等調整前当期純利益が149百万円減少しております。

なお、連結子会社1社の役員退職慰労金については、前第1四半期連結会計期間は、支出時の費用として処理しておりましたが、前連結会計年度の下期において役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前年第 1 四半期 (平成18年 6 月30日)	当第 1 四半期 (平成19年 6 月30日)	前連結会計年度 (平成19年 3 月31日)	増 減 (△) (対平成19年 3 月31日)
科目	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
I 流動資産	(180, 066)	(211, 060)	(206, 670)	(4, 390)
現金及び預金	18, 827	20, 908	13, 388	7, 520
受取手形及び売掛金	81, 192	93, 521	98, 434	△4, 913
有価証券	35	290	609	△319
たな卸資産	64, 803	77, 409	75, 621	1, 788
収用に係る未収入金	2, 362	918	918	—
その他	13, 091	18, 237	17, 926	311
貸倒引当金	△246	△224	△229	5
II 固定資産	(310, 221)	(353, 249)	(340, 761)	(12, 488)
1. 有形固定資産	(203, 541)	(231, 550)	(225, 512)	(6, 038)
建物及び構築物	53, 704	51, 609	52, 312	△703
機械装置及び運搬具	81, 094	83, 913	85, 365	△1, 452
土地	27, 871	27, 950	27, 609	341
建設仮勘定	36, 918	64, 069	56, 180	7, 889
その他	3, 952	4, 007	4, 045	△38
2. 無形固定資産	7, 594	6, 158	7, 096	△938
3. 投資その他の資産	(99, 085)	(115, 540)	(108, 151)	(7, 389)
投資有価証券	78, 043	93, 333	86, 351	6, 982
収用に係る未収入金	6, 282	5, 363	5, 363	—
その他	15, 315	17, 196	16, 815	381
貸倒引当金	△555	△353	△378	25
資産合計	490, 288	564, 310	547, 431	16, 879

(注) 増減は当第 1 四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

ダイセル化学工業(株) (4202) 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

(単位：百万円)

	前年第 1 四半期 (平成18年 6 月30日)	当第 1 四半期 (平成19年 6 月30日)	前連結会計年度 (平成19年 3 月31日)	増 減 (△) (対平成19年 3 月31日)
科目	金額	金額	金額	金額
(負債の部)				
I 流動負債	(135, 847)	(161, 007)	(152, 555)	(8, 452)
支払手形及び買掛金	50, 708	61, 656	58, 775	2, 881
1 年以内に償還する社債	10, 000	—	—	—
短期借入金	30, 127	47, 578	41, 088	6, 490
1 年以内に返済する長期借入金	20, 118	19, 570	18, 715	855
未払法人税等	4, 772	3, 039	6, 908	△3, 869
定期修繕引当金	344	752	2, 179	△1, 427
その他	19, 776	28, 410	24, 889	3, 521
II 固定負債	(124, 641)	(153, 769)	(152, 466)	(1, 303)
社債	30, 000	30, 000	30, 000	—
長期借入金	47, 254	73, 800	73, 981	△181
退職給付引当金	7, 862	8, 009	8, 554	△545
役員退職慰労引当金	—	280	136	144
定期修繕引当金	130	—	36	△36
圧縮記帳特別勘定	22, 580	19, 309	19, 309	—
その他	16, 813	22, 368	20, 448	1, 920
負債合計	260, 488	314, 776	305, 022	9, 754
(純資産の部)				
I 株主資本	(167, 830)	(181, 954)	(179, 627)	(2, 327)
資本金	36, 275	36, 275	36, 275	—
資本剰余金	31, 573	31, 575	31, 575	—
利益剰余金	101, 097	115, 312	112, 970	2, 342
自己株式	△1, 116	△1, 208	△1, 193	△15
II 評価・換算差額等	(30, 649)	(40, 843)	(36, 344)	(4, 499)
その他有価証券評価差額金	30, 218	38, 395	34, 233	4, 162
繰延ヘッジ損益	117	126	37	89
為替換算調整勘定	313	2, 320	2, 073	247
III 少数株主持分	31, 319	26, 736	26, 437	299
純資産合計	229, 799	249, 533	242, 409	7, 124
負債純資産合計	490, 288	564, 310	547, 431	16, 879

(注) 増減は当第 1 四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年第 1 四半期 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日		当第 1 四半期 自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日		前連結会計年度 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日		増 減(△) (対前年第 1 四半期)	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	増減率 (%)
I 売上高	88,647	100.0	97,682	100.0	381,422	100.0	9,035	10.2
II 売上原価	66,015	74.5	76,251	78.1	289,562	75.9	10,236	15.5
売上総利益	22,632	25.5	21,430	21.9	91,859	24.1	△1,202	△5.3
III 販売費及び一般管理費	13,837	15.6	14,107	14.4	55,461	14.6	270	2.0
営業利益	8,794	9.9	7,323	7.5	36,398	9.5	△1,471	△16.7
IV 営業外収益	736	0.8	1,565	1.6	4,297	1.1	829	112.6
受取利息	133		150		648		17	
受取配当金	354		474		722		120	
その他	247		940		2,926		693	
V 営業外費用	1,295	1.4	1,262	1.3	5,961	1.5	△33	△2.5
支払利息	680		813		3,050		133	
その他	614		448		2,910		△166	
経常利益	8,235	9.3	7,626	7.8	34,734	9.1	△609	△7.4
VI 特別利益	1	0.0	75	0.1	4,674	1.2	74	—
固定資産処分益	—		75		50		75	
投資有価証券売却益	1		—		2		△1	
補助金収入	—		—		1,350		—	
圧縮記帳特別勘定取崩益	—		—		3,270		—	
VII 特別損失	69	0.1	420	0.4	6,224	1.6	351	508.7
固定資産除却損	69		215		1,289		146	
減損損失	—		—		138		—	
固定資産圧縮損	—		—		4,621		—	
役員退職慰労引当金繰入額	—		198		174		198	
その他	—		6		—		6	
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,167	9.2	7,281	7.5	33,185	8.7	△886	△10.8
法人税、住民税及び事業税	3,451	3.9	2,475	2.5	12,311	3.2	△976	△28.3
法人税等調整額	△351	△0.4	299	0.3	△311	△0.1	650	
少数株主利益	949	1.1	725	0.8	3,746	1.0	△224	△23.6
四半期(当期)純利益	4,118	4.6	3,780	3.9	17,438	4.6	△338	△8.2

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年第 1 四半期 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日	当第 1 四半期 自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日	前連結会計年度 至 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日
区分	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期 (当期)純利益	8,167	7,281	33,185
減価償却費	5,538	6,182	23,773
受取利息及び受取配当金	△488	△625	△1,370
支払利息	680	813	3,050
固定資産除売却損益	69	140	1,239
売上債権の増減額 (増加：△)	3,008	5,592	△13,371
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△5,020	△1,482	△15,126
仕入債務の増減額 (減少：△)	△662	2,014	6,637
その他	755	△4,775	1,972
小計	12,048	15,141	39,990
利息及び配当金の受取額	498	1,198	1,463
利息の支払額	△607	△771	△2,962
法人税等の支払額	△5,993	△6,267	△12,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,946	9,301	25,534
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△11,160	△6,489	△54,572
有形固定資産の売却による収入	—	368	2,081
無形固定資産の取得による支出	△344	△263	△742
投資有価証券の取得による支出	△1,033	△11	△2,845
貸付けによる支出	△991	△545	△1,797
貸付金の回収による収入	120	71	1,671
その他	6	△351	2,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,404	△7,221	△54,183
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額 (減少：△)	7,092	6,404	17,633
長期借入による収入	8,487	4,000	51,881
長期借入金の返済による支出	△2,260	△3,485	△20,919
社債の償還による支出	—	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△17	△16	△95
自己株式の売却による収入	0	0	3
配当金の支払額	△1,447	△1,447	△2,895
少数株主への配当金の支払額	△534	△398	△8,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,319	5,057	26,948
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	174	△86	890
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)</b>	4,036	7,050	△811
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	14,350	13,958	14,350
<b>VII 新規連結子会社増加による現金及び現金同等物の増加額</b>	419	149	419
<b>VIII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	18,805	21,158	13,958



(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年第 1 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	14,537	22,461	38,184	12,107	1,357	88,647	—	88,647
(2)セグメント間の 内部売上高	917	3,186	6	—	2,768	6,878	(6,878)	—
計	15,454	25,647	38,190	12,107	4,125	95,526	(6,878)	88,647
営業費用	12,484	22,745	34,784	10,809	3,972	84,795	(4,942)	79,853
営業利益	2,970	2,902	3,405	1,298	153	10,730	(1,936)	8,794

当第 1 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	17,644	22,914	41,432	14,274	1,416	97,682	—	97,682
(2)セグメント間の 内部売上高	550	3,163	4	—	2,950	6,669	(6,669)	—
計	18,195	26,078	41,436	14,274	4,367	104,351	(6,669)	97,682
営業費用	15,540	23,981	38,162	13,064	4,360	95,110	(4,751)	90,359
営業利益	2,654	2,096	3,274	1,210	6	9,241	(1,918)	7,323

前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対す る売上高	63,501	93,838	161,880	55,495	6,706	381,422	—	381,422
(2)セグメント間の 内部売上高	2,354	14,126	28	—	11,876	28,386	(28,386)	—
計	65,856	107,965	161,909	55,495	18,582	409,808	(28,386)	381,422
営業費用	54,225	96,641	147,134	49,448	17,657	365,108	(20,084)	345,023
営業利益	11,630	11,323	14,775	6,047	924	44,700	(8,302)	36,398

ダイセル化学工業(株) (4202) 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

〔所在地別セグメント情報〕

前年第 1 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年 6 月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	68,069	15,129	5,448	88,647	—	88,647
(2)セグメント間の内部売上高	11,529	2,097	333	13,960	(13,960)	—
計	79,598	17,227	5,782	102,608	(13,960)	88,647
営業費用	71,108	15,231	5,538	91,878	(12,024)	79,853
営業利益	8,489	1,996	244	10,730	(1,936)	8,794

当第 1 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	72,892	17,435	7,354	97,682	—	97,682
(2)セグメント間の内部売上高	12,011	3,178	645	15,835	(15,835)	—
計	84,903	20,614	7,999	113,517	(15,835)	97,682
営業費用	77,969	18,735	7,570	104,276	(13,916)	90,359
営業利益	6,933	1,878	428	9,241	(1,918)	7,323

前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	290,832	66,186	24,403	381,422	—	381,422
(2)セグメント間の内部売上高	46,302	9,423	1,740	57,466	(57,466)	—
計	337,134	75,609	26,144	438,888	(57,466)	381,422
営業費用	301,513	67,461	25,212	394,187	(49,164)	345,023
営業利益	35,620	8,147	932	44,700	(8,302)	36,398

〔海外売上高〕

前年第1四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	21,186	9,003	30,190
II. 連結売上高			88,647
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.9	10.2	34.1

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	24,343	12,831	37,174
II. 連結売上高			97,682
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.9	13.2	38.1

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	92,184	43,031	135,216
II. 連結売上高			381,422
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.2	11.3	35.5